



NPO 法人 つくば環境フォーラム

令和2年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境の調査・研究・保全事業、環境教育事業、連携促進、情報の収集・発信、環境に配慮したまちづくりへの提言活動等を展開しています。令和2年度は以下の活動を行いました。

1. 環境の調査・研究・保全事業

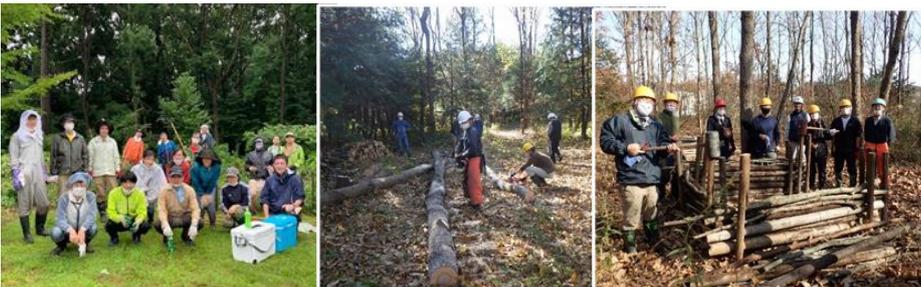
1-1. オオムラサキの棲む里山づくり 参加者計 のべ 416名

平成14年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。開発事業終了後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約21haの里山の自然が残っています。民有地での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林では平成15年より森づくりボランティアを継続しています。近隣のロケーションビレッジの住民の皆さんの参加、つくば薪クラブとの連携等で、里山の雑木林の手入れ、間伐などの活動を行うことができました。また、12月には法人会員の富士電機㈱の皆さんが参加されました。8回実施し、のべ95名が参加。活動開始より通算167回の活動となりました。

実施日	参加者数
7月4日	4名
7月26日	18名
8月15日	6名
11月21日	21名
12月12日	9名
1月16日	22名
2月20日	8名
3月20日	7名



ロケーションビレッジの皆さん 雑木の間伐(薪クラブ) 富士電機㈱の皆さん

・里山子どもワンダーランド探検隊

親子の自然体験プログラムを10回計画、うち10回を開催し、自然観察、森の手入れ体験、森の落ち葉の循環を学ぶ畑の活動などを行いました。のべ279名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ42名でした。

実施日	参加者数
6月14日	28名
7月11日	39名
8月8日	22名
9月5日	39名
10月25日	38名
11月21日	29名
12月12日	28名
1月16日	25名
2月20日	34名
3月20日	39名



オオムラサキの棲む森の解説 クワガタのすみかづくり ジャガイモ植え

1-2. 葛城大規模緑地利活用事業（茨城県委託事業） 参加者計 のべ 1176名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14haは、自然環境を保全しつつつ利用することをめざして官民協働で整備中の里山です。この事業は、当NPOと一般財団法人つくば都市交通センターの連合体で茨城県から委託を受け実施しました。平成27年に設立された「葛城里山クラブ」の会員の皆さんと活動しました。活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策をとって行いました。「里山散歩」では資料を配付しての家族ごとの活動を基本として10回実施（のべ312名参加）、緑地への理解と愛着を深めていただきました。植樹地の手入れ活動

「朝ボラ」を6～9月に4回実施、**29名**が参加しました。5月予定だった交流会を10/24に延期して開催、**45名**が参加して、森に親しみ、新たな活動の企画を相談しました。会員が企画運営に参加したプロジェクト「残された湿地を魅力ある場所にしよう！」を2月と3月に連続して2回行い、のべ**87名**が参加しました。これらの活動は、スタッフのべ**70名**がサポートし、会員の皆さんと行いました。

緑地の植物調査や保全活動を「植生ボランティア」(登録者13名)のべ**81名**とスタッフ**67名**で21回行い、調査記録をまとめました。また、里山の環境維持管理活動は刈払い機やチェーンソーの講習を受けた「葛城フォレスター」(登録者29名)とスタッフが有償で担い、草刈りや間伐作業を行いました(作業日数40日、のべ**485名**)。なお、葛城里山クラブは登録会員604名で森を見守るファンが年々増えています(昨年比79名増)。



里山散歩・自由散策(4月) 緑地マップと観察図鑑シート 水辺の観察(7月) 交流会での意見交換(10月)



里山散歩・落葉かき(12月) 里山散歩・茅刈り(1月) 湿地プロジェクトの活動(2月・3月)



植生ボランティア 絶滅危惧種タコノアシ 葛城フォレスターの皆さん フォレスターによる間伐作業

1-3. 筑波山麓谷津田再生事業) 参加者計 のべ**813名**

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で15年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種がみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナーに19組の親子登録がありました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されたため、5月5日に予定していた田植えイベントを延期し5月末に再設定、2日に分けて少人数での体験イベントにしました。稲刈りも同様に2日分けて行い、収穫祭は田んぼで家族ごとに竹筒ご飯を炊く形式で行いました。

・谷津田の米づくり 参加者のべ**172名**

実施日	テーマ	参加者数
5月30日	田植え	19名
5月31日	田植え	25名
6月13日	ホタル観察会	37名
9月19日	稲刈り	24名
9月22日	稲刈り	22名
10月31日	収穫祭	45名



体験付きオーナーの田植え 収穫祭は田んぼでご飯炊き

- ・オーナー参加者の親子体験活動「田んぼオープンデー」を4回実施してのべ105名の参加がありました。
- ・35名(77口)の支援者の皆さんに資金の協力をいただきました。
- ・野村不動産(株)の田植え・稲刈りの体験イベントは新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。
- ・メタウォーター(株)も昨年に引き続き田んぼの企業オーナーとして参加しました。しかし、6月の田植えは中止となり、10/3に社員と家族の方々が参加して稲刈りを行うことができました(参加者のべ24名)。
- ・「田んぼボランティア」に13名が登録し、田植え、補植、草取り、稲刈り、畔の修繕などを28回行いました。田んぼの維持管理やイベント等の活動サポートを行ったスタッフ・ボランティアはのべ301名でした
- ・イノシシ被害が大きかったため、冬季(12~3月)にイノシシ柵の補強、周囲の里山林の刈払い、重機を借りての田んぼの改良工事等を実施。この活動は30回行い、のべ197名が参加しました。



メタウォーター(株) 稲刈り



子どもたちが田んぼに糠まき(オープンデー)



重機で田んぼの改良作業

1-4. 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり 参加者計 24名

谷津田周辺の里山の雑木林で、森の若返りを図るための間伐と枝の片づけ、下草刈りなどの手入れ等を実施しました。

実施日	テーマ	参加者数
11月28日	森の手入れ、伐採枝のたき火	中止
2月27日	伐採枝のたき火、焼き芋	24名

この他、連携団体「つくば薪クラブ」が、里山の手入れを行い、整備で出た材を薪にして有効活用を図っています。



整備で出た枝を燃して田んぼの肥料に

1-5. その他の調査活動 参加者計 のべ13名

「筑波山におけるブナの結実調査」

11/11 筑波山において男体山、御幸ヶ原で調査。3名

(調査結果は「全国ブナ結実調査」へ報告)

「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)のべ8名

つくば市文化財課の依頼を受けて平成27~令和元年度につくば市内の巨樹等自然文化財の調査を実施しました。本年度は調査のまとめ作業を行いました。

「阿見町太陽光発電所残置里山林における植生計画検討調査」2名



ブナの結実調査

2. 環境教育推進事業

2-1. 筑波山ファンクラブ 参加者計 のべ95名

実施日	テーマ	参加総数
4月11日	裏筑波のカタクリと早春の植物	9名
5月2日	雨引山・新緑ハイク	中止
6月21日	筑波山・広根場林道の植物観察	12名
7月5日	八郷の里山歩き	15名
8月6日	筑波山・自然研究路の植物観察	7名
9月6日	朝日峠~雪入山の自然観察	7名
10月10日	自然研究路自然観察とブナ結実調査	中止
11月29日	つくば市筑波山市有林の紅葉	12名
12月20日	つくし湖~薬王院 野鳥観察	10名
1月24日	茨城県自然博物館野焼き協力	中止
2月11日	筑波山麓を歩く	13名
3月28日	宝篋山・早春のスミレ	10名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪が広がることをめざし、12回の観察会や調査活動を計画しましたが、9回の実施となりました。5月は緊急事態宣言の発出により中止とし、10月は雨天のため中止、1月は再び新型コロナウイルスの感染拡大で協力参加を予定していた茨城県自然博物館の野焼きが中止となりました。毎回の観察会の記録をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブ登録メンバーに送付しています。2020年度のメンバー登録者は84名でした。



4月 カタクリの観察と調査 8月 男体山自然研究路 2月筑波山麓白滝神社 筑波山ファンクラブのメンバー

2-2. 筑波山自然インストラクター

筑波山自然インストラクターは筑波山を訪れる学校や、一般の観光客の方々に筑波山の自然について解説できる人材を育成しようと平成 21～23 年に地球環境基金からの助成を得て養成し、以来、小学校の遠足に同行しての自然解説や、学校での授業等を行ってきました。令和 2 年度に登録を継続したインストラクターは 26 名でした。今年度は、学校からの依頼はなく、また、例年 10 月に開催している「筑波山の自然展」も不特定多数の来訪者を対象とするものなので、感染症予防の観点から中止としました。インストラクターのメンバーは自主グループ「カタカゴの会」で研修活動を行いました。

2-3. 筑波山ネイチャーガイド事業（つくば市委託事業）

つくば市観光推進課の依頼で、令和元年度より、その前の年度まで実施していた「筑波山ビジターセンターセンター試行事業」に代わり実施することになった事業です。今年度は当初 4 月のカタクリの開花時期に合わせて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により順延となり、10 月の実施を検討したものの、中止となりました。

2-4. 筑波山自然環境教育事業（つくば市委託事業） 参加者計 22 名

つくば市環境政策課が主催する筑波山周辺の自然環境を学ぶ講座の企画・運営の委託を受け、前年度まで年 4 回の活動を実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、1 回のみの実施となりました。つくば市環境サポーターズニュースで 20 名を募集し、つくば市中心部の平地林と筑波山麓の谷津田を巡り、野生動物が身近な里山にいることや、動物と人間のかかわり等について学んでいただきました。活動を支えたスタッフは 4 名でした。

実施日	テーマ	参加者数
11 月 22 日（日）	つくばの里山を学ぶ～野生動物のすみかとしての里山～	18 名



市役所で里山について講義 葛城の平地林で観察 山麓の茅葺小屋で昼食と講義 谷津田で野生動物の足跡観察

2-5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 参加者計 のべ 832 名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成 14 年度より、毎年実施しています。年間登録制で月に 2 クラス（水曜日及び金曜日クラス、各 30 組）を募集してきましたが、今年度は各クラス 20 組としました。各クラスは年間 10 回の活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症により 5 月の回を中止とし、以後は感染症対策をとって、計 18 回を実施しました。幼児期の貴重な体験である自然との出会いをなくさないように、プログラムの変更等で 3 密を避け、活動を継続しました。お母さんたちにとっても、野外での活動は日頃のストレスを発散し、子どもとゆっくり向き合える時間となったようです。この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修生生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も 9 回実施しました。また、例年 1 月は竹筒でご飯炊きとどんど焼きをしますが、バーベキュー場の工事のため、芝生広場での「冬の運動会」に変更しましたが、思いっきり体を動かせたと好評でした。お団子などみんなで作って食べる活動ができなくなり残念でした（調理スタッフが衛生に配慮して作り個別に配布しました）。イベントへの参加者数はのべ 629 名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ 203 名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月15日・17日	新緑の森へいこう!	中止
6月12日・14日	じゃがいも掘りとネイチャービンゴ	76名
7月3日・5日	夏の生きもの探検隊!～ザリガニ釣り体験	77名
9月4日・6日	生き物いっぱい!!	72名
10月16日・18日	秋の森の宝さがし～お月見飾り	73名
11月20日・22日	♪森でフェスティバル♪インディアンになって踊ろう	78名
12月4日・6日	☆森のクリスマス☆	61名
1月15日・17日	冬の大運動会	60名
2月19日・21日	春の七草をさがそう!～七草がゆ	64名
3月11日・13日	春を見つけよう!～よもぎだんご	68名



はじめの体操



ザリガニの説明



森の素材でクリスマスカード



運動会でだいこん運び競争

2-6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (つくば市委託事業)

参加者計 のべ 172名

つくば市農業課に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より高崎自然の森で「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えていきます。5月予定だった初回を6月に延期し、家族ごとにコースを巡る活動とし、子どもたちの生きもの調査とマップづくりは参加人数を減らしての開催、感染拡大が落ち着いた11月は多くの家族に来ていただき家族単位で活動できたものの、12月は再びの感染拡大で中止となりました。4回実施で参加者はのべ134名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ38名でした。

実施日	テーマ	参加者数
6月27日	第1回：ネイチャービンゴで初夏の森探検 (親子対象)	38名
7月23日	第2回：夏休み企画！森の生きものマップづくりⅠ (小学生対象)	13名
8月5日	第3回：夏休み企画！森の生きものマップづくりⅡ (小学生対象)	22名
11月14日	第4回：秋の森探検+木の実・落ち葉アート (親子対象)	61名
12月5日	第5回：森の手入れ体験+クリスマス・オブジェづくり (親子対象)	中止



6月 ネイチャービンゴ



7月 夏休みの生きもの調査



11月 秋の森たんけん



11月

2-7. 筑波山麓自然学校 (つくば市委託事業)

参加者計 266名

平成14年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、参加者が筑波山麓の自然を楽しく学び、自然環境保全への理解を深めることをめざしています。定員を減らす等の新型コロナウイルス感染症対策をとって開講しましたが、感染拡大により計画した10回のうち3回が中止となり、中止回の申込者に再募集して再設定した回をふくむ8回の講座を実施しました。のべ参加者数は207名(申込総数1110名)、活動を担ったスタッフ・ボランティアは、のべ59名でした。



6月 葉っぱ図鑑づくり

実施日	テーマ	参加者数
6月20日	サツマイモ苗植えと葉っぱ図鑑づくり	27名
7月19日	沢の生きもの観察会	14名
8月1日	発見たいけん沢遊び	28名
8月22日	虫・むし探検隊	22名
11月7日	つるをひっぱれ！ サツマイモ掘り&森探検	25名
12月19日	森の散策とクリスマス・クラフト	31名
1月11日	おもちつきとならせ餅	中止
1月23日	竹ご飯と竹工作①	中止
2月6日	竹ご飯と竹工作②	中止
2月28日	(再設定)竹ご飯と里山散策	31名
3月8日	春を探そう～ネイチャービンゴ	29名



7月 沢の生きもの観察会



8月 虫・むし探検隊 12月 クリスマス・クラフト 2月 竹でご飯炊き 3月 春を探そう

2-8. その他の環境教育推進事業

- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座里山実習 10/21、11/18、12/16 大学院生 11名
- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座よりインターンシップの受け入れ 留学生 1名（オンライン）他 2名
- ・筑波大学社会学部プログラムよりインターンシップの受け入れ 1名

3. 連携促進事業

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会との連携

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流をめざし結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会（GT協議会）に幹事団体として参加しています。毎年、野村不動産㈱が来訪する田んぼの田植え・稲刈り体験と農村マルシェ等を協働で企画し開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。そこで、初めての試みとして「谷津田と森のガイドツアー」を協働で企画・実施しました。チラシの制作・広報をGT協議会事務局、谷津田の体験活動をつくば環境フォーラム、昼食を多国籍料理塩梅、茅葺小屋のレクチャーを里山建築研究所が担当して行いました。広報期間が短かったこと、新型コロナウイルス感染症や天候不順などで参加者は少なかったものの、地域の方やGT協議会のメンバーも参加しての有意義な交流活動となりました。（参加 14名）



稲刈り体験

おだげ前で記念撮影

昼食のお弁当

茅葺小屋の説明

・その他、他団体との連携

都市と自然が融合する暮らし「つくばスタイル」を発信する「つくスタ 縁日」に、「筑波山麓すそみの田んぼ」で参加。また、地域の子育てを支援するためのネットワーク「かるがもネット」、持続可能な開発のための教育の推進を目指す「ESD-J」に会員として参加しました。

4. 情報収集・発信事業

・ニュースレター「TEF TEF（てふてふ）」の発行



「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して情報を集め、提言にまとめて発行しています（発行部数 2000 部）。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、学校関係者の方々にご覧いただいています。

また、季節ごとの活動に関しては TEF News を年 2 回発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほか、年度ごとにまとめた活動報告をホームページ上でも公開しています。

【令和 2 年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

46号	8月発行	身近な自然とつき合うには ～自然と人とのよい関係をつくろう～
-----	------	-----------------------------------

TEF News Vol.28 2020 年 4 月発行

TEF News Vol.29 2020 年 11 月発行

・ホームページ・ブログ・フェイスブック

ホームページでつくば環境フォーラムの活動について紹介するほか、葛城大規模緑地利活用事業については、ブログ「葛城の森から」による発信を通年行っています。2020 年度は 43 回のブログを発信、フェイスブックにも投稿しています。フェイスブックでは折々の活動や自然の様子を紹介、112 回の発信をしました。

※ターバンに依頼して、スマートホン対応のホームページへのリニューアルを進めています。2021 年 6 月に更新予定です。

・筑波山の自然紹介パネル

筑波山ケーブルカー山頂駅 2 階休憩所に 12 枚の解説パネルを通年掲示し、筑波山の自然への理解を深める情報を発信しています。

5. 環境に配慮したまちづくりの研究・提言事業

・つくば市文化財保護審議会への参加（天然記念物担当）

8/3 1/25

・グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会

11/6～8（オンライン・ポスター発表）11/7（フラッシュトーク）

「市民協働がつなぐグリーンインフラ

～筑波山麓と研究学園都市の里山保全活動を事例に～」



フラッシュトークに掲示したポスター

6. その他

【企業との連携（まとめ）】

- ・野村不動産株式会社 田んぼオーナー 活動中止 収穫した米と報告を送付
- ・メタウォーター株式会社 谷津田保全活動 稲刈り 10/3 24 名
- ・富士電機(株) 活動地視察 7/17 2 名（法人として特別賛助会員に登録）
森づくりボランティアへの参加 12/12 4 名

【研究機関】

- ・国立科学博物館筑波実験施設 フクロウの巣箱内容物調査、植物資料採取
- ・国立環境研究所 つくば生きもの緑地ネットワークとの協議
- ・ミュージアムパーク茨城県自然博物館 植物資料採取

【大学】

- ・筑波大学芸術系人文社会学 自然と緑の市民ボランティア活動意識調査への協力



富士電機(株)の視察

2020 年度会員数：211（正会員 21 準会員 177 賛助会員 13）うち 役員 7 法人 3 団体 3